

## 世界音楽の祭典 in 浜松 2016（仮称）について

### 1. 目的

2015年に開催する「音楽を通じた文化的多様性に関する国際会議」に基づき、「世界音楽」をキーワードに“世界の多様な楽器と音楽文化がジャンルを超えて融合しクロスオーバーする新しい形の音楽祭”を浜松から世界に発信する。本市が音楽文化交流を進める友好都市、2014 浜松世界青少年音楽祭参加都市、ユネスコ創造都市ネットワーク音楽分野加盟都市等と連携した国際音楽イベント。浜松市のユネスコ創造都市ネットワーク申請書にも記載した戦略的事業として開催する。

### 2. 開催時期

#### (1) 開催時期

平成28年度

#### (2) 開催期間

5日間程度の幅を持たせて開催する。

#### (3) 開催会場

アクトシティ浜松、楽器博物館、市内公共施設、北遠エリア等

#### (4) 対象音楽

民族音楽から電子音楽まで

(加盟都市では、グラスゴーのケルト音楽、ボローニャのオカリナなど地域固有の音楽が存在している。)

#### (5) 参加都市（想定）

音楽分野の加盟都市、台北市、ワルシャワ市、その他アジア各都市

#### (6) 事業内容（想定）

- ・ヨーロッパからアジア等の世界の楽器と音楽をテーマとした特徴的な音楽を紹介
- ・多様な音楽活動団体によるコンサート
- ・楽器博物館とも連携し、音楽祭で扱う楽器や音楽文化をクローズアップ
- ・市内各所でのミニコンサートや小学校等での楽器のワークショップの開催

### 3. 実施方法

#### 実行委員会形式

- ・世界音楽の祭典 in 浜松実行委員会（仮称）

---

## 4. 検討事項

### ◆検討に係る前提条件

- ①国際的レベルで文化的多様性を表現する音楽  
→民族音楽など
- ②地域固有の音楽資源（楽器・伝統芸能・舞踊等）を活用した音楽  
→地場産業の楽器を活用した音楽、伝統芸能に見られる音楽など
- ③ジャンル間、楽器間をまたぎクロスオーバーする音楽  
→異なるジャンルの楽器を活用した試み、現代音楽など新たな取り組み

### (1) 音楽ジャンル・範囲

民族音楽から西洋音楽、邦楽、電子音楽、現代音楽、合唱まで幅が広いので、カテゴリー分けを行い整理する必要がある。

### (2) コンサートの形式

アクトシティ大ホール・中ホール等で集中的にコンサートを行う形式や、会場を分散する方法、ワンコインなど安価な入場料で、多様な演奏会をはしごできる形式、野外音楽など公共空間でのオープンな無料コンサートなど、音楽の祭典のスタイルを決める必要がある。

---

### (3) 参加想定団体

国際的なレベルで音楽の祭典を開催するため、海外からの参加は必須。国内団体と合わせて参加団体数の枠組みを決定し、数的コントロールを図る必要がある。

### (4) ワークショップ

楽器に関連したワークショップを学校などで開催するなど体験型、参加型の音楽の祭典を企画する必要がある。

### (5) その他

楽器や音楽文化産業に関する学術会議や分科会などの実施、楽器産業の展示、その他飲食関係など